

関東米粉食品メールマガジン

第184号 28. 7. 28 【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



◆目次

- <1> 米粉取組事例の紹介
- <2> 米粉イベント&募集のお知らせ
- <3> 都県事務局からのお知らせ
- <4> その他のお知らせ



< 1 > 米粉取組事例の紹介

◇パルシステム葛西支部が米粉料理講座を開催しました（東京都）

とうきょう米粉ネットワーク会員の堀越孝枝さんが所属しているパルシステム葛西支部では、「自分たちで米粉の料理を作ってみよう！」ということで、6月末に江戸川区において米粉料理講座を開催しました。

講座のメニューは、お好み焼き、ニョッキのトマトソースがけ、豚肉の南蛮漬けです。10名の参加者が、レシピを見ながら各メニューに分かれて調理して、米粉料理以外にも、付け合せとしてわかめスープも作りました。



ニョッキを作っています。粘土遊びじゃありません・・・。



お好み焼きですわ～。米粉でうまいで～

参加者は、不慣れな食材にもかかわらず、手際よく調理を終わらせ、試食タイムとなりました。

この時間を利用して、**とうきょう米粉ネットワーク事務局**から、米粉を使用することのメリットや国内産農産物の自給率について話をさせていただきました。皆さんの感想としては、「米粉だと調理が面倒だと思っていたがむしろ楽だった。」や「片付けも水洗いできれいになるから時間が短縮されてありがたい。」とのことでした。

また、調理の時間中に、お子さんを預けていた参加者も、試食タイムには一緒に米粉料理を食べ、「おいしいからまた食べたい！」とお子さんに言われてニッコリでした。



試食風景です。子どもは・・・遊んでました(笑)。



本日のメニューです！結構なボリュームでした。

◇とうきょう米粉ネットワーク幹事会を開催（東京都）

とうきょう米粉ネットワークでは、6月27日(月)に、昨年度の活動の総括と今年度の活動計画について話し合うため、江東区東雲合同庁舎に於いて幹事会を開催しました。

意見交換の場では、各幹事から米粉の利用拡大に向けた現在の取組等を報告していただくとともに、現状に対する課題について話し合いました。

その中で、「お米全体の消費量が減少していく中で、米粉については消費が増えている。米粉パンの消費拡大を学校給食中心に進めたいので、今後、関係各方面へのさらなる要請を行っていききたい。」と、力強い応援をいただきました。

また、製造業者の方から、「和菓子用の粉も作っているが、和食が世界遺産に登録されたことで和菓子が見直されたために微増している。このような動きが、お米全体の需要の増加へ波及することを期待している。」と、昨今の現状を交えたお話をいただきました。

この幹事会で話し合われたことを基に、米粉の利用拡大に向けた活動に取り組んでいきたいと思えます。



挨拶をする春日会長



幹事会の様子

< 2 > 米粉イベント&募集のお知らせ

◇全国米粉料理レシピコンテスト2016（農林水産省）

農林水産省では、米粉の消費拡大に向けた表彰事業として、「全国米粉料理コンテスト2016」を開催します。

料理の腕前に自信ある方、料理に米粉を利用している方、米粉料理に関心や興味のある方など、自慢の一品で挑戦してみませんか。

詳しくは、全国米粉料理レシピコンテスト実行委員会（NPO法人国内産米粉促進ネットワーク内）のホームページをご覧ください。

- 応募締め切り：平成 28 年 8 月 15 日（月）
（当日消印有効）
- 全国米粉料理レシピコンテスト実行委員会HP
<http://www.komeko-cooking.com/>



◇米粉パンの予約販売を行っています（埼玉県）

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、米粉利用拡大の一環として毎月1回「米粉パン」の販売を行っています。

現在は、国産米粉と北海道産小麦で作った「米粉ベーグル」の販売を行っており、リピーターになる方も多く、好評を得ています。

なお、購入に当たっては、事前予約が必要になりますので、購入希望等ございましたら、関東米粉食品普及推進協議会事務局（電話：048-740-0403）までお問い合わせ下さい。

- 今後の販売予定日：
 - ・平成 28 年 8 月 30 日（火）
 - ・平成 28 年 9 月 27 日（火）
- 製造者：WAベーグル（有限会社 食生活）
住所：さいたま市南区神明 1-10-15 メゾン・ド・コリン1F
TEL：048-844-6313 FAX：048-740-7866
E-mail：wabage11@gmail.com

< 3 > 各都県事務局からのお知らせ

◇米粉料理教室の講師募集！！（埼玉県）

最近の米粉への関心の高さから、米粉料理教室が各地で開催され、埼玉県米粉利用食品推進連絡会にも講師派遣依頼のお問い合わせをいただいております。

家庭での米粉の利用拡大につなげることを目的に、当連絡会においても講師をお引き受けいただける会員の皆様に登録をお願いしております。

つきましては、以下のとおり講師をお引き受けいただける方々の募集をいたしておりますので、ご応募をお待ちしております。

- 募集の案内はこちらからご覧いただけます（PDF 形式ファイル）。
http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/pdf/koushi_panfu.pdf

< 4 > その他のお知らせ

◇外食産業等と連携した需要拡大対策事業の三次公募について

農林水産省では、「外食産業等と連携した需要拡大対策事業」として、外食・中食・加工業者など民間企業の皆様が、産地と連携して国産米を原材料とした新商品を開発する際に要する経費について、公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構（以下「米穀機構」）を通じた助成を行います。

現在、当該事業の3次公募を9月30日（金）までの期限で行っていますので、米粉を使った新商品の開発等に関心のある方は、米穀機構のホームページをご覧ください。

●米穀機構HPアドレス

<http://www.komenet.jp/boshu/index.html>

※申請の状況で、期限前に締切りとなる場合がありますので、ご了承下さい。

◇「第6回米粉フェスタ in たいない」出展者及び販売商品の募集について

北陸地域米粉利用推進連絡協議会から、新潟県胎内市で開催される「第6回米粉フェスタ in たいない」への出展者及び販売商品募集の案内がありました。

出展等を希望する事業者の方がいましたら、実行委員会事務局までお問い合わせ下さい。

●開催日時：平成28年9月24日（土）～25日（日）10：00～15：00

開催場所：新潟県胎内市 胎内市総合体育館「ぶれすぽ胎内」

（胎内市清水9番地7 新潟中条工業団地内）

申込〆切：8月19日（金）

問合せ先：米級グルメの祭典実行委員会事務局

（胎内市役所 商工観光課 担当：先川）

TEL：0254-43-6112

FAX：0254-43-7392

E-mail：kankou@city.tainai.lg.jp

胎内市観光協会HP：<http://tainai.info/posts/event/201606111481/>

◇「関東農政局メールマガジン」について

農林水産省関東農政局では、行政情報・地域の食と農のイベント情報などをタイムリーにお知らせするため、メールマガジンを発行しています。（隔週発行。無料）

購読を希望される方は、以下のリンクから登録をお願いいたします。

●関東農政局ホームページ

<http://www.maff.go.jp/kanto/houdou/kouhou/merumaga/index.html>

◇「食べて応援しよう！」の取組について

農林水産省関東農政局では、東日本大震災の被災地で生産された食品を積極的に消費することにより、産地の活力再生を通じて被災地の復興を応援するため「食べて応援しよう！」を共通のキャッチフレーズに、さまざまな取組の呼びかけを行っております。

ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

- 「食べて応援しよう！」へのリンク（関東農政局 HP）
http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete_ouen1.pdf

【編集後記】

関東地方の梅雨明けはまだですが、今年の梅雨は、西日本で降水量が多く、東日本、特に関東地方では雨が少なかったために、ダムの貯水率が低下して主要河川で取水制限が実施される事態になっています。

国土交通省によると、1年間に日本に降る雨や雪の量は約6,400億m³で、そのうち、約3分の1が蒸発散してしましますが、残りの3分の2が水資源として利用できる最大限の量となるそうです。実際に、農業や工業、生活用水として利用されるのは、最大限の量に対し12～13%でしかないそうで、取水制限となっても、お風呂に入れて水洗トイレが使える日本は、水資源に恵まれていることがよくわかります。

以前、この欄で世界の食料事情に触れたことがありましたが、水についても世界人口の増加に伴う需要増で、将来的な水不足の不安を訴える研究者など多くいます。事実、2000年に出された国連機関の報告書等によると、世界人口の約2割が安全な飲料水を得ることができず、年間約200万人の子供が水に由来する病気で死亡しているそうです。

また、河川が複数の国家間を流れていることから、水問題が国家間の紛争の要因になるとも言われ、1995年には、当時の世界銀行副総裁イスマル・セラゲルディン氏が、「20世紀は石油紛争の時代だったが、21世紀は水紛争の時代になる。」と警告しています。

日本は水が豊かな国で、全国どこでも安全な水を飲むことができるため、水が無限にある資源のような錯覚を受けますが、水は、地球上を循環しているだけで、その資源には限りがあります。また、地球上に多くの水がありますが、大半は海水として存在していて、人が比較的利用しやすい河川や湖沼などの割合は、わずか0.01%となっているそうです。

この僅かな限りある水を、70億人をこえる人間が利用し、今後更なる人口増加が予測されていることを考えると、取水制限のような非常時だけではなく、日頃から節水を心がける重要性を強く感じます。

●米粉食品に関する情報は・・・

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>

●関東米粉食品普及推進協議会員を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

●FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

●皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています！

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）

TEL：048-740-0406（直通）

FAX：048-601-0533

*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>